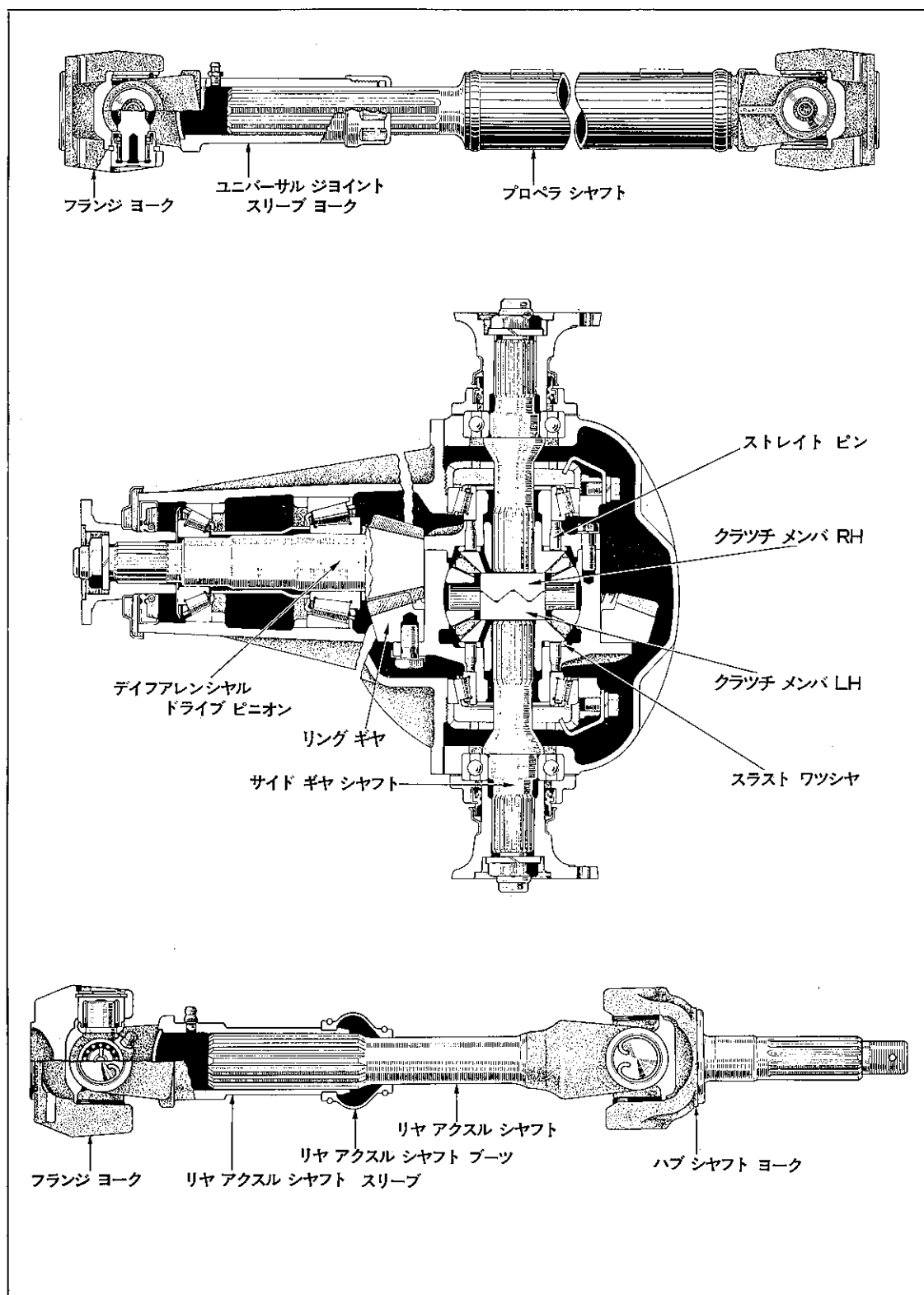


プロペラ シャフト, デイファレンシャル, リヤ アクスル

10

概 説.....	10-2
トラブル シューテイング	10-3
プロペラ シャフト	10-4
デイファレンシャル.....	10-6
リヤ アクスル	10-13

概 説



第10-1図 プロペラ シャフト, デイファレンシャル キャリヤ, リヤ アクセル

Y5218 Y5219 Y5220

仕 様

第10-1表 プロペラ シャフト, デイファレンシャル, リヤ アクスル仕様

推 進 軸	長 さ × 外 径 × 内 径 自 在 接 手 形 式	528mm × 42.7mm × 35.7mm 十 字
減 速 機	歯 車 形 式 減 速 比	ハ イ ポ イ ド 4.375 (4.111, 4.625)
差 動 機	外 箱 形 式 歯 車 形 式 お よ び 数	フ レーム っ り 下 げ 一 体 式 か さ 歯 車 2
後 車 軸	形 式	全 浮 動 2 ジョイント付き

注 () 内はオプション

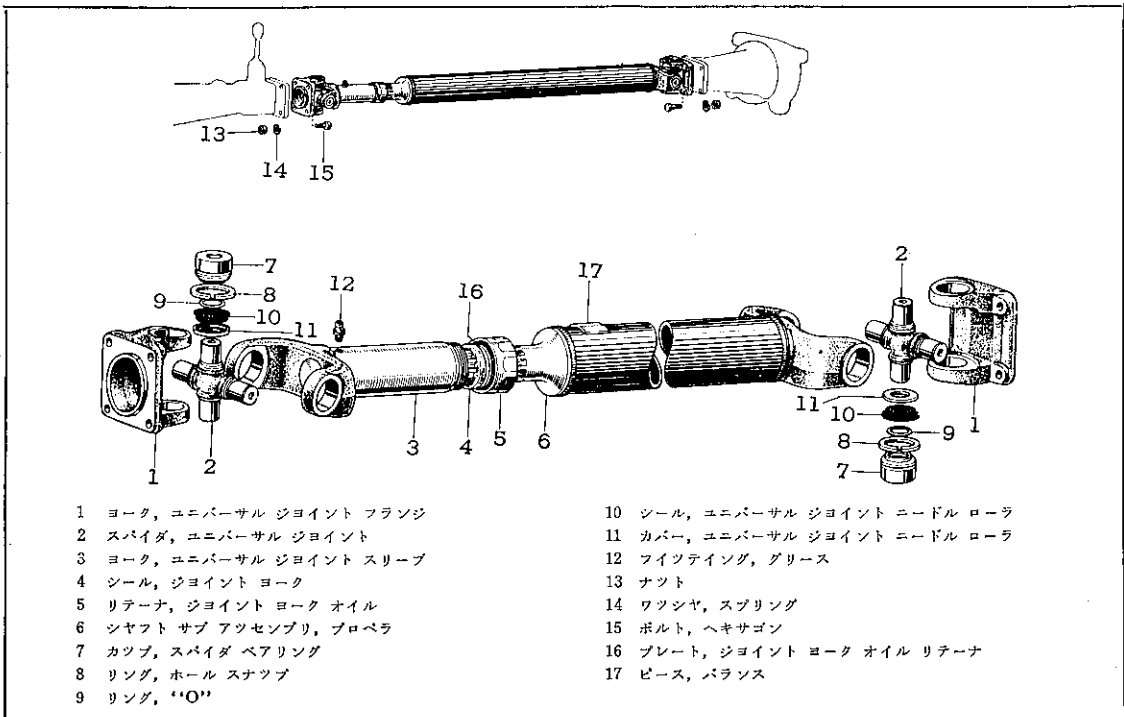
トラブル シューテイング

現 象 お よ び 推 定 原 因	処 置
プロペラ シャフト, リヤ アクスル シャフトの振動 1 ユニバーサル ジョイント スパイダ ベアリング破損および摩耗大 2 シャフトの曲がり 3 シャフトのアンバランス 4 シャフト取り付けのゆるみ 5 ベアリング (ラジアル ボール) の摩耗	ベアリング交換 シャフト交換 バランス修正またはシャフト交換 締め付け ベアリング交換
プロペラ シャフト, リヤ アクスル シャフト 発進時の打音または惰行時の騒音 1 ユニバーサル ジョイント摩耗, 損傷 2 スプライン部摩耗 3 シャフト取り付けのゆるみ 4 ジョイント フランジ ヨーク取り付けのゆるみ	交 換 スリーブ ヨーク交換 締め付け 締め付け
デイファレンシャルの破損 (ケース, ギヤ, ベアリング等) 1 オイルの不足または不適當 2 過酷な車両の使用 3 ベアリング (サイドおよびドライブ ピニオン用) 調整不良 4 ドライブ ピニオンとリング ギヤの調整不良 5 スラスト ワツシャの選択不良 6 サイド ギヤ スラスト ワツシャおよびピニオン スラスト ワツシャ摩耗によるバックラツシュの過大 7 ボルト (リング ギヤおよびデイファレンシャル ケース カバー セット用) のゆるみ	デイファレンシャルを分解して, 各部異常の有無を充分点検し, 不良部品を交換する。 ベアリング類のプレロード, ギヤ類のバックラツシュ, クラツチ メンバ サイド ギヤのすき間 (0.03~0.11mm) 歯当たり等を正規に調整して組み付け, キャツスル ハイポイド ギヤ オイル スペシャル (SAE 90) を規定量給油する。 (1.2ℓ)
リヤ ホイールの騒音 1 アクスル シャフトとの組み付けのゆるみ 2 ベアリングの摩耗, 損傷 3 タイヤ不良 4 ホイール セット ピンのゆるみ	ハブ ナットの締め付け ベアリング交換 タイヤ交換 キャツプ ナット交換締め付け

現象および推定原因	処 置
デифアレンシヤルの騒音	
1 油量不足	ハイポイド ギヤ オイル スペシャルを補充
2 リング ギヤとドライブ ピニオンの調整不良	歯当たり点検, 調整
3 リング ギヤおよびドライブ ピニオンの歯の摩耗	リング ギヤ アンド ドライブ ピニオン キット交換
4 ベアリング (ドライブ ピニオン用) のゆるみ	ベアリング (ドライブ ピニオン用) のプレロード調整, およびリング ギヤとドライブ ピニオンのバックラツシュ調整 歯当たり点検
5 ベアリング (デифアレンシヤル サイド用) のゆるみ	ベアリング (サイド用) のプレロード調整およびリング ギヤとドライブ ピニオンのバックラツシュ調整 歯当たり点検
6 サイド ギヤ スラスト ワツシャまたはクラツチ メンバの摩耗	スラスト ワツシャまたはクラツチ メンバ交換
7 リング ギヤまたはデифアレンシヤル ケース のひずみ	リング ギヤ アンド ドライブ ピニオン キットまたはデифアレンシヤル ケース交換
8 デифアレンシヤル ケース カバーのゆるみ	取り付けボルト締め付け (接着剤使用)
9 クラツチ メンバの損傷	クラツチ メンバ交換
10 サイド ギヤ スラスト ワツシャの調整不良	スラスト ワツシャ調整

プロペラ シャフト

構成部品



第10-2図 プロペラ シャフト構成部品

Y5221

取りはずし

- 1 右側シートを取りはずし、トンネル ダスト シールを取りはずす。
- 2 ユニバーサル ジョイント フランジ ヨーク (フロントおよびリヤ側) を取りはずす。
- 3 プロペラ シャフトをディフアレンシャル キヤリヤ左側より取り出す。

分 解

リヤ アクスルの項 (P10-14) を参照する。

点 検

分解した部品は洗浄点検し、下記の不具合があれば交換する。

- 1 シャフト スプライン部、スパイダ ジャーナル面、ニードル ローラ；損傷、摩耗、さび。
- 2 シャフト；曲がり、損傷、アンバランス、ベアリング カップかん合部の損傷。
- 3 ジョイント ヨーク オイル リテーナ プレート；摩耗、損傷。

組み付け

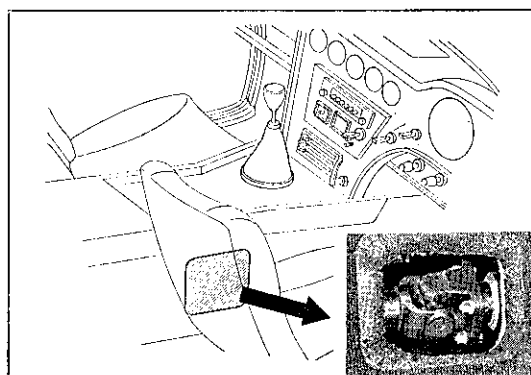
- 1 スパイダ ベアリング カップを選択して組み付ける。

注

- 1 スリーブ ヨークにテーキン マークのある物はベアリング カップに赤色ペイントの付いた物を組み付ける
- 2 マークの位置が中央の物は手前側、左側の物は反対側を表わす。
- 3 ベアリングにはキャツスル MP グリースを充てんする。
- 2 スパイダ軸方向の遊びが 0.05mm 以下になるようにスナツプ リングを選択して組み付ける。

注 両側のスナツプ リングの厚さを同じにする。

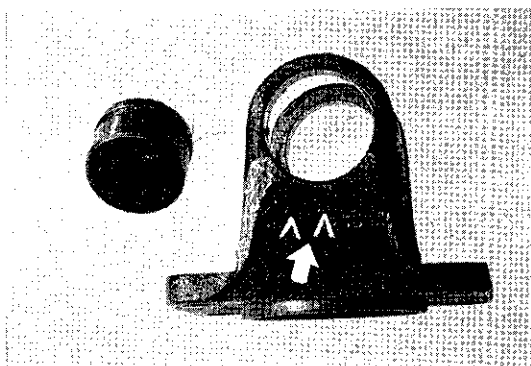
- 3 スリーブ ヨークにリテーナ プレート、ヨーク シール、オイル リテーナを組み付ける。



第10-3図 ダスト シール取りはずし G0352 V1887

第10-2表 ベアリング カップ

品 番	寸 法	備 考
スパイダ ベアリング カップ外径寸法 (mm)		
37431-20010	26.015~26.028	識別マークなし
37431-20020	26.036~26.049	赤ペイント
スリーブ ヨーク内径寸法 (mm)		
37311 20010	26.000~26.021	識別マークなし
	26.021~26.042	テーキン マーク



第10-4図 打刻マーク V2494

第10-3表 ホール スナツプ リング

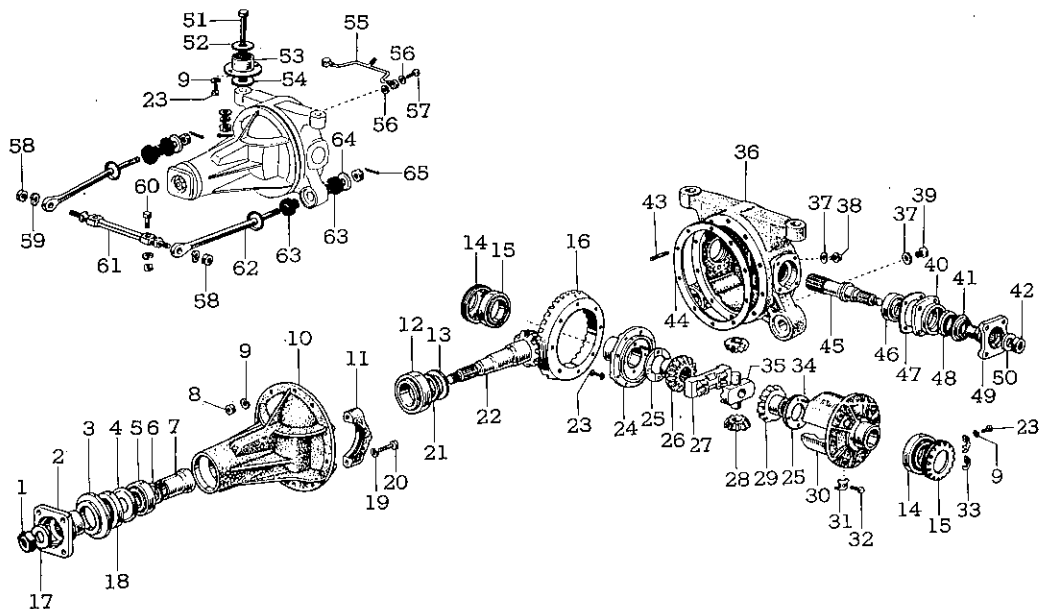
品 番	種 類	厚 さ (mm)
90521-29070	No.1	2.375~2.425
90521-29071	No.2	2.425~2.475
90521-29072	No.3	2.475~2.525
90521-29073	No.4	2.525~2.575

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

デифアレシヤル

構成部品



- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1 ナット | 34 ビン, ストレイト |
| 2 フランジ, ユニバーサル ジョイント | 35 メンバ, クラッチ, LH |
| 3 デフレクタ, ダスト | 36 ケース, デイファレンシヤル キヤリヤ |
| 4 スリング, ドライブ ピニオン オイル | 37 ガasket, ドレーン プラグ |
| 5 ベアリング, テーパー ドローラ | 38 プラグ, ウイズ ヘッド ストレイト スクリュー |
| 6 シム | 39 プラグ サブ アッセンブリ, ドレーン |
| 7 スペーサ, デイファレンシヤル ドライブ ピニオン | 40 リテーナ, サイド ギヤ シャフト ベアリング |
| 8 ナット | 41 カバー, ダスト |
| 9 ワッシャ, スプリング | 42 ナット |
| 10 キヤリヤ, デイファレンシヤル | 43 ボルト, スタッド |
| 11 キヤップ, デイファレンシヤル ベアリング | 44 ガasket, デイファレンシヤル キヤリヤ |
| 12 ベアリング, テーパー ドローラ | 45 シャフト, デイファレンシヤル サイド ギヤ |
| 13 ワッシャ, プレート | 46 ベアリング, ラジアル ボール |
| 14 ナット, デイファレンシヤル ベアリング アジャスティング | 47 ガasket, ベアリング リテーナ |
| 15 ベアリング, テーパー ドローラ | 48 シール, タイプ "TB" オイル |
| 16 ギヤ, デイファレンシヤル リング | 49 フランジ, サイド ギヤ シャフト |
| 17 ワッシャ, プレート | 50 ワッシャ, プレート |
| 18 シール, タイプ "T" オイル | 51 ボルト, ビンホール ヘキサゴン |
| 19 ワッシャ, スプリング | 52 ワッシャ, プレート |
| 20 ボルト, ヘキサゴン | 53 マウンティング, デイファレンシヤル キヤリヤ |
| 21 シム | 54 ワッシャ, プレート |
| 22 ピニオン, デイファレンシヤル ドライブ | 55 ブリーザ, サブ アッセンブリ |
| 23 ボルト | 56 ガasket |
| 24 カバー, デイファレンシヤル ケース | 57 ボルト, ユニオン |
| 25 ワッシャ, デイファレンシヤル サイド ギヤ スラスト | 58 ナット |
| 26 ギヤ, デイファレンシヤル サイド | 59 ワッシャ, スプリング |
| 27 メンバ, クラッチ, RH | 60 ボルト |
| 28 ピニオン, デイファレンシヤル | 61 シャフト, トルク ロッド ピボット |
| 29 ギヤ, デイファレンシヤル サイド | 62 ロッド, サブ アッセンブリ デイファレンシヤル |
| 30 ケース, デイファレンシヤル | マウンティング |
| 31 プレート, リング ギヤ セット ボルト ロック | 63 クワシヨン |
| 32 ボルト | 64 ワッシャ |
| 33 ロック, デイファレンシヤル ベアリング アジャスト ナット | 65 ビン, ロック |

第10-5図 デイファレンシヤル キヤリヤ構成部品

Y5222

取りはずし

- 1 サイド ギヤ シャフト フランジ (1)を切り離す。

注 リヤ アクスル シャフトはハブ シャフト ヨークよりはずさないでおく。

- 2 ジョイント フランジ(2), マウンティング ロッド (3), トルク ロッド ピボット シャフト (4)を取りはずす。

- 3 サービス ホールよりプラグを取りはずし, ピンホール ヘキサゴン ボルト(5)を取りはずす。

- 4 デイファレンシヤル キャリヤを左側ローアーム下部より取りはずす。

分解

- 1 デイファレンシヤル キャリヤ ケースより, サイド ギヤ シャフト ベアリング リテーナをギヤ シャフト, フランジ 付きで取りはずす。

- 2 デイファレンシヤル サイド ギヤ シャフトよりサイド ギヤ シャフト フランジ, ダスト カバー, タイプ “TB” オイル シール, サイド ギヤ シャフト ベアリング リテーナ, ベアリングを取りはずす。

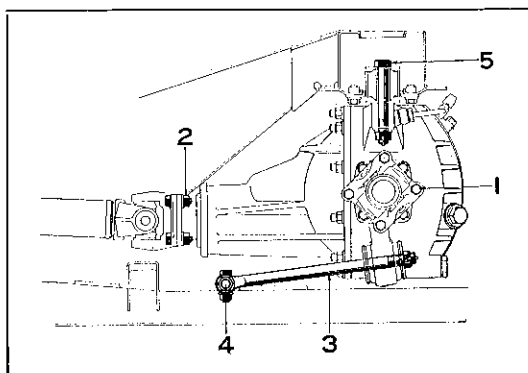
- 3 ブリーザ サブ アツセンブリを取りはずす。

- 4 デイファレンシヤル キャリヤをケースから取りはずす。

- 5 デイファレンシヤル ケース アツセンブリを取りはずす。

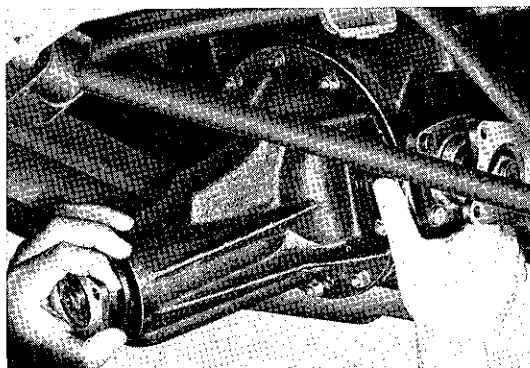
注

- 1 ベアリング キャップおよびキャリヤに合わせマークを打つ
- 2 ベアリング キャップおよびカップを左右混同しないようにする。



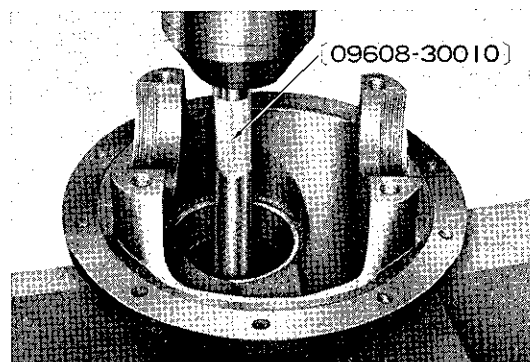
第10-6図 デイファレンシヤル
キャリヤ取りはずし

Y5223



第10-7図 デイファレンシヤル
キャリヤ取りはずし

V1888



第10-8図 ベアリング カップ取りはずし

V2495

- 6 ユニバーサル ジョイント フランジを取りはずし, ドライブ ピニオンを取りはずす。

注 調整用スぺーサおよびシムに注意する。

- 7 タイプ “T” オイル シール, オイル スリンガおよび ベアリング コーンを取りはずす。

- 8 ベアリング カップ (ドライブ ピニオン用) を, フロント ハブ アンド ドライブ ピニオン ベアリング ツール セット [09608-30010] を使用して取りはずす。

- 9 ベアリング（ドライブ ピニオン リヤ用）をユニバーサル プラー〔09950-20010〕を使用して取りはずす。
- 10 リング ギヤを取りはずす。
注 ケースとリング ギヤに合わせマークを打ち、組み付け位置を混同しないようにする。
- 12 ケース カバー(1)を取りはずし、サイド ギヤ(2)、サイド ギヤ スラスト ワツシャ(3)、ストレイト ピン(4)、クラッチ メンバ RH(5)、デифアレンシヤル ピニオン(6)、クラッチ メンバ LH(7)を取りはずす。

点 検

分解した部品は洗浄、点検し下記の不具合がある場合は交換する。

- 1 各ベアリング カップ、ローラ；損傷、摩耗、焼き付き。
- 2 ドライブ ピニオンおよびリング ギヤの歯面；損傷、過度の摩耗、焼き付き。
- 3 デифアレンシヤル ケースおよびケース カバー；き裂。
- 4 クラッチ メンバ、サイド ギヤかん入部、サイド ベアリングかん合部；摩耗。
- 5 ピニオン、クラッチ メンバ LH、クラッチ メンバ RH、ストレイト ピン、サイド ギヤ スラスト ワツシャ、サイド ギヤ；損傷、摩耗、焼き付き。
- 6 リング ギヤの振れ；リング ギヤ組み付け後、測定する。

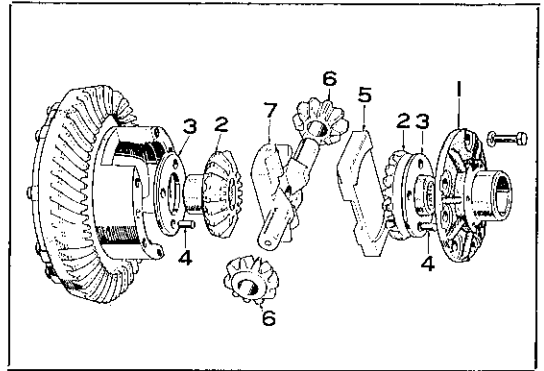
振れ限度 0.10mm

組み付け

デифアレンシヤル ケース

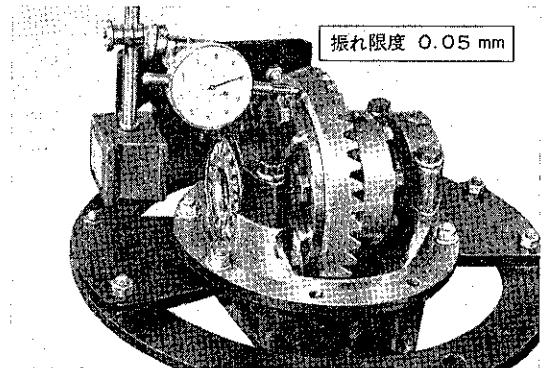
- 1 デифアレンシヤル ケースとサイド ギヤ、クラッチ メンバのすき間をスラスト ワツシャの選択によつて調整する。

すき間基準値 0.03~0.11mm



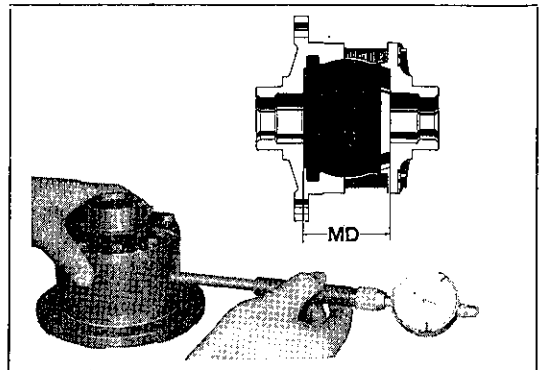
第10-9図 デифアレンシヤル分解

Y5224



第10-10図 リング ギヤの振れ点検

V2496



第10-11図 マウンテイング
デイスタンス測定

G0353 V1889

- (1) デифアレンシヤル ケースにケース カバーを取り付ける。

締め付けトルク 4.0~5.0m·kg

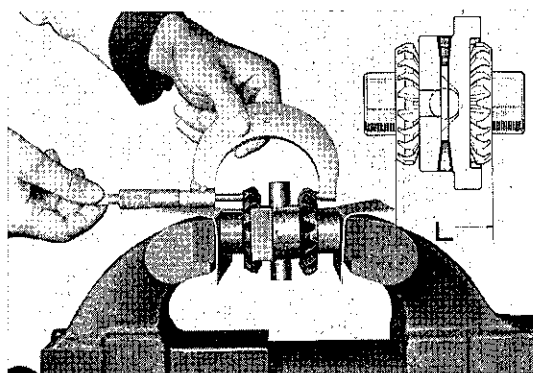
- (2) デифアレンシヤル ケースのマウンテイング デイスタンス (MD) を測定する。

- (3) サイドギヤ、クラッチメンバ RH, LH
の組み合わせ寸法 (L) を測定する。

基準値 56mm

- (4) (2)の項および(3)の項で測定した寸法差によ
つて、スラストワッシャを選択する。

MD-L=すき間



第10-12図 クラッチメンバ測定

G0354 V1890

第10-4表 スラストワッシャ組み合わせ種類

品番	厚さ(mm)	種類	組み合わせ	合わせ記号	使用範囲 (MD-L) (mm)
41361-62010	3.00	No.1	1+1	A	6.04~6.09
			1+2	B	6.09~6.13
41362-62010	3.04	No.2	2+2	C	6.13~6.17
			2+3	D	6.17~6.21
41363-62010	3.08	No.3	3+3	E	6.21~6.25
			3+4	F	6.25~6.29
41364-62010	3.12	No.4	4+4	G	6.29~6.32

第10-5表 スラストワッシャ使用範囲

		デフアレンシャル ケース マウンティング ディスタンス (MD) 測定値 (mm)										
		6204	6205	6206	6207	6208	6209	6210	6211	6212	6213	6214
サイドギヤ クラッチメンバ RH LH 組み合わせ寸法(L) 測定値(mm)	56.00 ~ 55.98	A (1+1)										
	55.97 ~ 55.96											
	55.95 ~ 55.94	B (1+2)										
	55.93 ~ 55.92											
	55.91 ~ 55.90	C (2+2)										
	55.89 ~ 55.88											
	55.87 ~ 55.86	D (2+3)										
	55.85 ~ 55.84											
	55.83 ~ 55.82	E (3+3)										
	55.81 ~ 55.80											
		F (3+4)										
		G (4+4)										

G0360

2 デイファレンシヤル ケース カバー ボルト 接着。

- (1) デイファレンシヤル ケース, ケース カバーおよびボルトをトリクレン洗浄する。

注 洗浄剤はトリクレンと同程度の脱脂力ならば他のものでもよい。

- (2) デイファレンシヤル ケース, ケース カバーおよびボルトの接着部に, は毛などによつてプライマ処理を行なう。

注 プライマ処理剤はロツク クイック プライマを使用すること。

- (3) ケースおよびケース カバーにストレイト ピンを組み付け, 選択したスラスト ワツシャ, クラツチ メンバRH, LH, ピニオン, サイド ギヤを組み付ける。

注 スラスト ワツシャ組み合わせ(B)(D)(f)を使用するときは薄い方をリング ギヤ側にする。

- (4) デイファレンシヤル ケースのネジ部および取り付けボルトに ロツク タイトのリテーニング コンパウンドを塗布して ケース カバーを組み付ける。

締め付けトルク 4.0~5.0m·kg

- (5) デイファレンシヤル ケース カバーを組み付けた状態で3時間以上放置する。

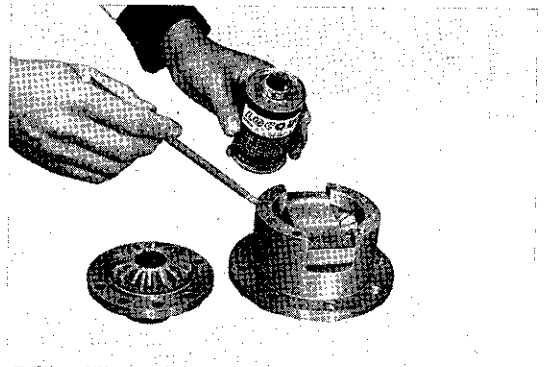
冬期は30~50°Cに加熱して行なう。

3 ロツク プレートを紹介してリング ギヤを組み付ける。

締め付けトルク 7~8m·kg

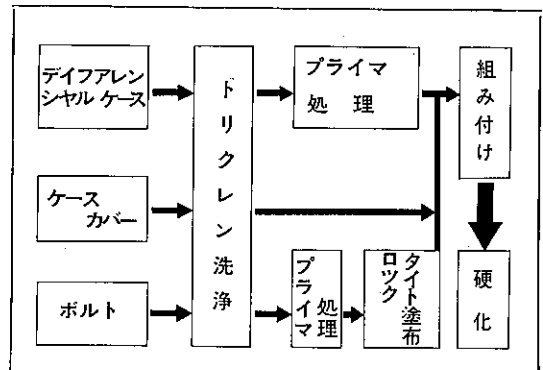
注 ロツク プレートのねじれ防止のため第10-16図のようなホルダを使用すると作業が確実ができる。

- 4 分解時ベアリング (デイファレンシヤル ケース用)を取りはずした場合には, サイド ベアリング コーン リプレーサ(09505-30010)を使用してケース両側にベアリングを圧入する。



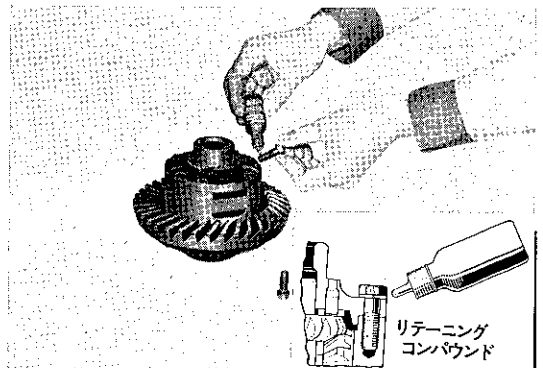
第10-13図 プライマ処理

V1541



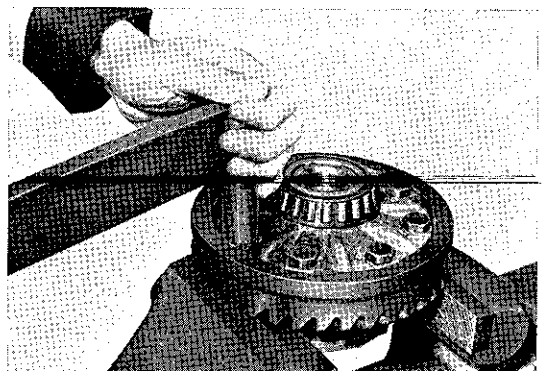
第10-14図 デイファレンシヤル組み付け

G0355



第10-15図 リテーニング
コンパウンド塗布

V1542 G0356



第10-16図 リング ギヤ組み付け

V1543

- 5 デイファレンシャル キャリヤにベアリング カップをフロント ハブ アンド ドライブ ピニオン ツール セット〔09608-30010〕を使用して圧入する。
- 6 ベアリング（ドライブ ピニオン用）のプレロードを、スペーサ(4)、シム(5)の選択によって調整する。(第10-17図)

プレロード基準値

19~26cm-kg ベアリング（新 品）

4~10cm-kg ベアリング（再使用）

- (1) デイファレンシャル ドライブ ピニオン アジャスト ゲージ〔09530-30010〕を使用して調整する場合は次の方法で行なう。
- (2) 第10-17図のナット(7)を規定トルクで締め付け、プレロード フランジ(6)で測定し作動中のプレロードが規定数値内になるようにスペーサ(4)シム(5)を調整する。

プレロード基準値

3.8~5.2kg ベアリング（新 品）

0.8~2.0kg ベアリング（再使用）

ナット(7)

締め付けトルク 17~19m-kg

第10-6表 シム（ベアリング調整用）

品 番	厚 さ
90564-30032	0.3mm

第10-7表 スペーサ種類

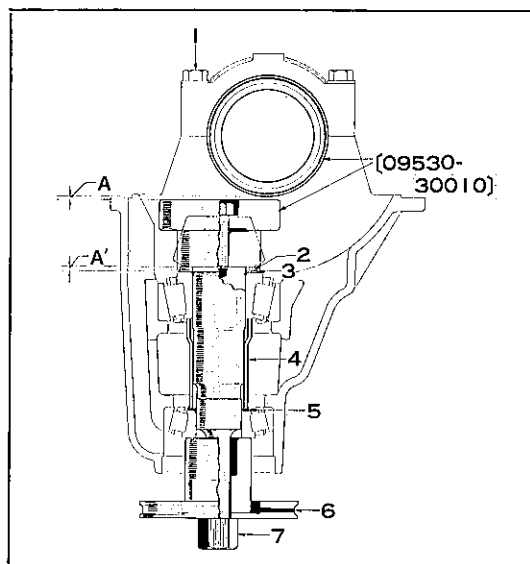
品 番	種 類	長 さ(mm)
41231-30010	No. 1	61.000~61.025
41232-30010	No. 2	61.045~61.070
41233-30010	No. 3	61.090~61.115
41234-30010	No. 4	61.135~61.160
41235-30010	No. 5	61.180~61.205
41236-30010	No. 6	61.225~61.250

- 7 ドライブ ピニオン、アジャスト シムおよびプレート調整。(第10-17図)

- (1) ベアリング キヤップ セット ボルト(1)を規定トルクで締め付ける。

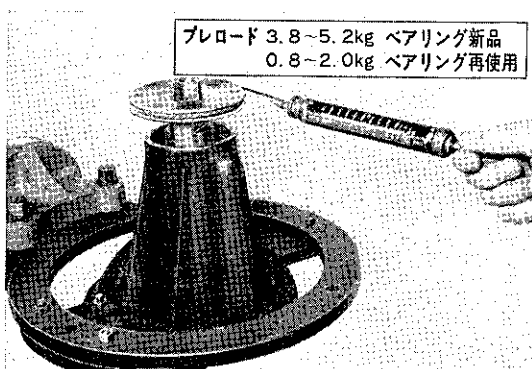
締め付けトルク 7.0~9.0m-kg

- (2) プレート ワツシャ(2)、シム(3)、を合わせて、すき間(A)にちょうどそう入できるように、ワツシャ(2)を選択する。



第10-17図 シム、スペーサ選択

Y5225



第10-18図 プレロード測定

V2497

第10-8表 シム（ドライブ ピニオン調整用）

品 番	厚 さ
90564-38072	0.271 mm

第10-9表 プレート ワツシャ（ピニオン アジャスト用）種類

品 番	種 類	厚 さ (mm)
90209-35022	No. 1	2.99~3.01
90209-35023	No. 2	3.02~3.04
90209-35024	No. 3	3.05~3.07
90209-35025	No. 4	3.08~3.10
90209-35026	No. 5	3.11~3.13
90209-35027	No. 6	3.14~3.16
90609-35028	No. 7	3.17~3.19
90209-35029	No. 8	3.20~3.22
90209-35030	No. 9	3.23~3.25
90209-35058	No. 10	3.26~3.28

- 8 ゲージ〔09530-30010〕を取りはずし、ドライブ ピニオンに7項で選定したスペーサおよびシムをはめ、ベアリング（リヤ用）を組み付ける。

注 プレート ワツシヤは面取りしてある方をギヤ側にむける。

- 9 ドライブ ピニオンに6項で選定したスペーサとシムをはめてキャリヤに組み付ける。

締め付けトルク 17~19m-kg

- 10 デイファレンシャル ケースをキャリヤに組み付ける。

- 11 デイファレンシャル サイド ベアリング プレロード調整。

- (1) ケースの軸方向の遊びが無くなった位置より1.5~2.0ノッチ ナットをねじ込んで適当なバックラツシュを確認し、キャップを規定トルクで締め付ける。

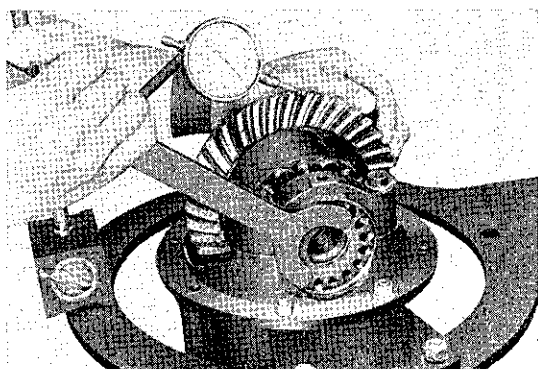
締め付けトルク 7.0~9.0m-kg

- (2) ドライブ ピニオンと総合されたプレロードをナットで調整する。

プレロード

23~32cm-kg ベアリング（新品）

5~12cm-kg ベアリング（再使用）



第10-19図 バックラツシュ調整

V1891

- (2) ゲージ〔09530-30010〕のトルク フランジで測定する場合は次の測定値にする。

プレロード 4.6~6.4kg（ベアリング新品）

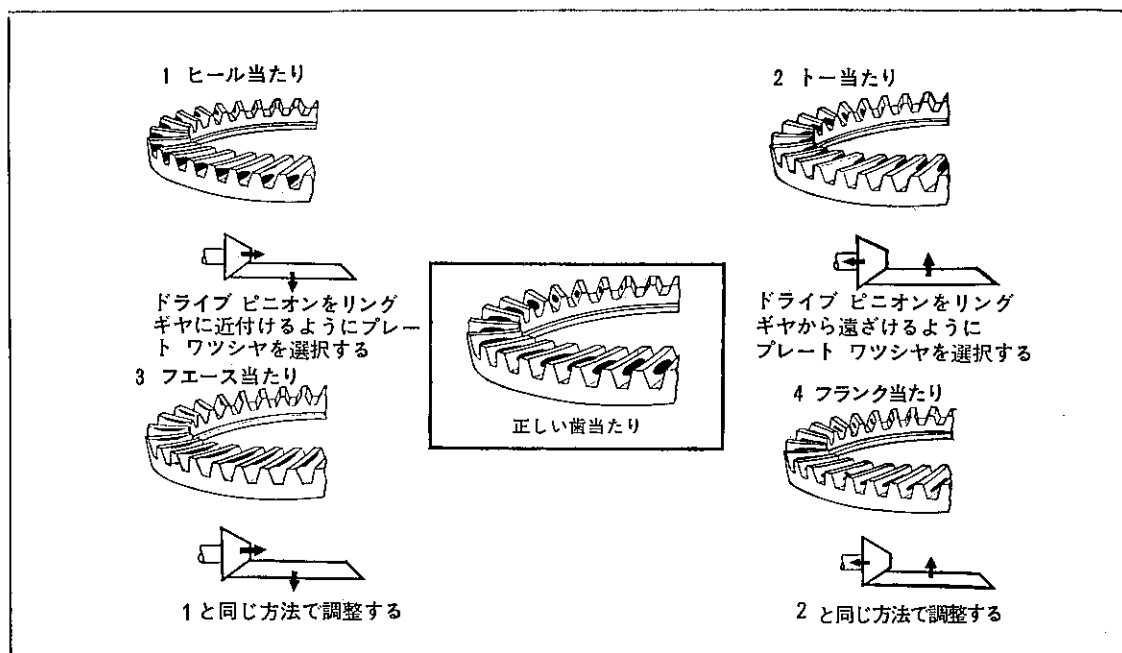
1.0~2.4kg（ベアリング再使用）

（第10-18図）

- 12 ドライブ ピニオンとリング ギヤのバックラツシュを調整する。（第10-19図）

バックラツシュ 0.13~0.18mm

- 13 リング ギヤとドライブ ピニオンの歯当たりを点検し、正しい歯当たりをしていない場合は次の調整を行なう。（第10-20図）



第10-20図 リング ギヤ歯当りの状態

G0357

14 アジャスティング ナット ロックを取り付ける。

15 オイル スリングを入れ、タイプ“T”オイル シール を打ち込み、ジョイント フランジを組み付ける。

締め付けトルク 17~19m・kg

注 ナットはセルフ ロック タイプであるので必ず新品と取り替える。

16 デイフアレンシヤル キヤリヤをキヤリヤ ケースに組み付ける。

締め付けトルク 2.0~3.5m・kg

17 サイド ギヤ シャフトを組み付けて、キヤリヤ ケースに組み付ける。

注 サイド ギヤ シャフト オイル シール リプレーサ〔09517-62010〕を使用してオイル シールを組み付ける。

18 オイル注入。

種類 キヤツスル ハイポイド ギヤ オイル スペシャル SAE 90

油量 1.2ℓ

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

締め付けトルク

マウンテイング ロツド 7~9m・kg

ピボット シャフト 2~3m・kg

キヤリヤ マウンテイング 8~12m・kg

デイフアレンシヤル キヤリヤ マウンテイング

取りはずし、取り付け

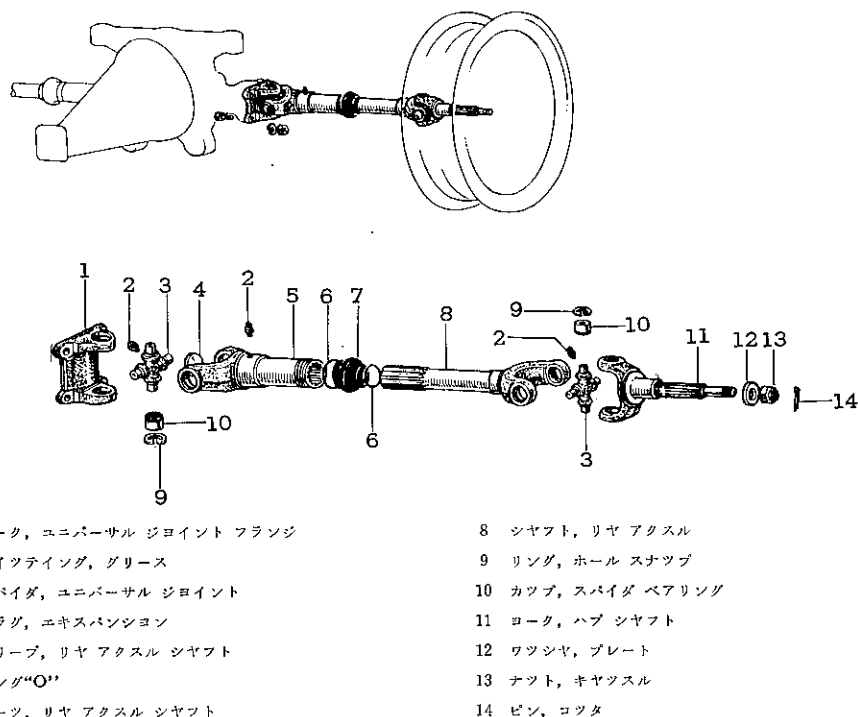
1 デイフアレンシヤル キヤリヤ 取りはずしの項 (P10-7) を参照

2 キヤリヤ マウンテイングを取りはずす。

締め付けトルク 1.5~2.2m・kg

リヤ アクスル

構成部品



第10-21図 リヤ アクスル構成部品

Y5226

取りはずし

- 1 ハブ シャフト ヨーク ナットを取りはずす。
- 2 サイド ギヤ シャフト ヨークを切り離し、
アクスル シャフトを取りはずす。

注 オイル シールおよびアクスル ハブに注意する。

分 解

- 1 ハブ シャフト ヨークとアクスル シャフト
に合わせマークを打つ。
- 2 ホール スナツプ リングを取りはずし、スパ
イダ ベアリング カップを取りはずす。
- 3 ユニバーサル ジョイント スパイダを取りは
ずす。

点 検

分解した部品は洗浄点検し、不具合があれば交
換する。

組み付け

分解作業の逆に行なう。

注

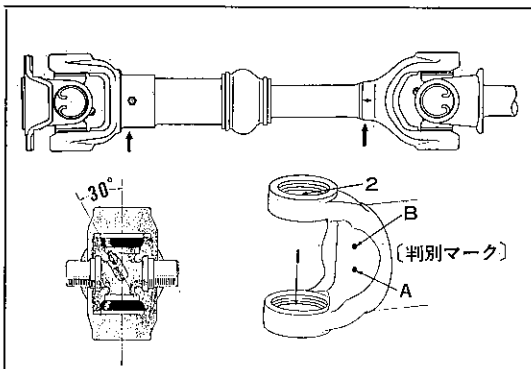
- 1 スパイダの軸方向の遊びが0.05mm以下になるよう
にスナツプ リングを選択する。(第10-12表)
- 2 スパイダ ベアリング カップを判別マークによつて
組み付ける。(第10-10表, 第10-11表, 第10-22図)
- 3 スパイダのグリース フィットイング側が相対して
内側になり, 向きはヨーク フランジ, ハブ シャフ
ト ヨークのスパイダ軸に対して30°の位置に組み付
ける。
- 4 シャフト スリーブのグリース フィットイングにヨ
ークの矢印を合わせて組み付ける。
- 5 スパイダ, ベアリング カップ, シャフト スプライ
ン部にはキャツスル MP グリースを塗る。

第10-10表 スパイダ ベアリング カップ寸法

品 番	寸 法 (mm)	判別マーク
37402-60020	28.515~28.528	マーク無し
37402-60030	28.536~28.549	赤色マーク

第10-11表 ベアリング カップ組み合わせ

種 類	○マークの有無		使用ベアリング	
	A 部	B 部	① 穴	② 穴
1	○マーク	マ ー ク 無 し	赤 色 マ ー ク	マ ー ク 無 し
2	マ ー ク 無 し	○マーク	マ ー ク 無 し	赤 色 マ ー ク
3	○マーク	○マーク	赤 色 マ ー ク	赤 色 マ ー ク
4	マ ー ク 無 し	マ ー ク 無 し	マ ー ク 無 し	マ ー ク 無 し



第10-22図 リヤ アクスル Y5227 G0358 G0359
組み付け

第10-12表 スナツプ リング種類

品 番	種 類	厚さ (mm)
90521-31038	No. 1	1.40
90521-31039	No. 2	1.45
90521-31040	No. 3	1.50
90521-31041	No. 4	1.55

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注 ハブ シャフト ヨーク ナット締め付け。

締め付けトルク 17~19m・kg